



 CentricSoftware™

MARC JACOBS
CENTRIC PLMでプロセスを最適化

MARC JACOBS

日々の暮らしにちょっとした贅沢を

ユニークで個性的なブランドMarc Jacobsは、コンテンポラリーファッション界の型破りなデザイナーとして有名なMarc Jacobsが創業し、今ではそのブランド名Marc Jacobs Internationalも既成概念にとらわれない個性的なアーバンスタイルを表す言葉となりました。エンタープライズアプリケーション部門のディレクターJames Earles氏は「我々のDNAは、ニューヨークのダウントウンそのものです」と話します。

1984年に、米国ファッションデザイナー協会が新人デザイナーの優秀な功績を称えて贈るアワードを最年少で受賞したMarc Jacobsは、同年に自身のブランドMarc Jacobsを設立しました。1997年から2013年には、Louis Vuittonのアーティスティック・ディレクターとして活躍し、現在Marc JacobsはLVMHグループのブランドとなっています。

ファッションと若者のカルチャーへの不屈の愛が、Marc Jacobsブランドの核となっています。

この30年間、オリジナリティ溢れるユーモアがブランドを作り上げてきました。

この活気あふれる力強いエネルギーを、すべての人とシェアすることをコミットしているMarc Jacobsは、オーセンティックなファッションハウスための、デモクラティックなアパレルブランドです。

そしてMarc Jacobsは、他の誰もまねできない、世界で唯一の存在です。

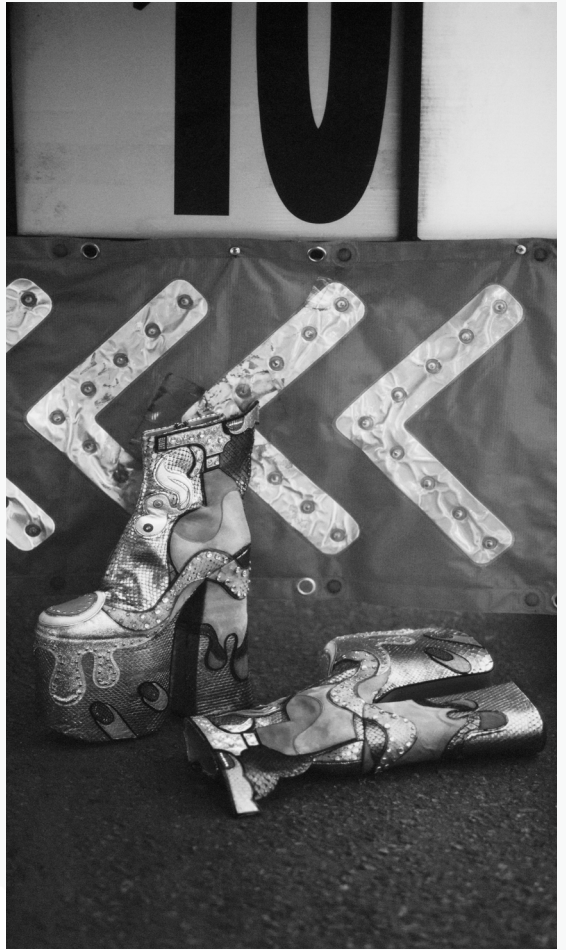
予期せぬ状況

主力ファッションハウスとしてトレンドの最先端を走るMarc Jacobsは、利益を求めることより、クリエイティブな創作活動に重きをおいてきました。そんな“熱狂的なクリエイティブ”を発揮するMarc Jacobsのために、LVMHは商品やプロセスをコンスタントに見直して改革できるよう、自由な環境を用意してきました。

実際には、社内でビジョンは共有しながらも、ブランド内の各部門が独立して作業しており、それぞれ違うシステムやツールを使っていました。しかし、それまでデザインや商品開発を社外で行っていたフットウェア部門を、2014年にニューヨークのSoHoにある本社に戻す際に、このことが問題となりました。

PLM&アナリティクス部門のシニアマネージャLouise Neslin氏は「どの部門も複雑ですが、フットウェアは他の部門と全く違っていました。ラインが2つあり、コレクション数が4つと3つで異なり、デザインも別々に行っていました。フットウェアのリードタイムは他のどの部門より長く、さらにシーズンも他より早く進んでいたため、ライン計画や販売計画、商品開発のプロセスも、アパレルやアクセサリよりかなり早く進める必要がありました」と説明します。

このような違いを考慮すると、フットウェア部門を社内に戻すことは、他の部門と同じプロセスを適用するという簡単な方法では実現できないことがわかりました。



Centric PLMを使い始めて、すべての効率が信じられないほど上がりました

課題

- + 商品データが整理できていない
- + 作業が重複して、ミスが多発
- + 既存のシステムではフットウェアのプロセスをカバーできない
- + 商品データを管理するライブラリがない
- + スケジュールが複雑で、商品化に時間がかかる

ワンランク上のソリューション

フットウェア部門独自の要件を満たすためには、他の部門と同じ方法では通用しませんでした。また社外で作業していた時は、デザインから商品開発、調達まですべてのデータをExcelで管理しており、ライブラリーの作成や履歴管理は行われていなかったため、そのやり方を続けることも現実的ではありませんでした。

James Earles氏は「データの精度を改善して情報を共有できる環境を作る必要がありましたが、他の部門で使っているシステムでは制約が多すぎて難しいことがわかり、そのシステムはロードマップも不明確でした。さらにフットウェア部門の商品開発は、他の部門向けに作ったプロセスとは大きく違うことも判明しました。そのような状況の中で、このフットウェア部門に合うよりよいシステムと、プロセスを改善して最適化する方法を模索していました」と語ります。

2つの基準：業界での実績と構成の簡単さ

Marc Jacobsでは、他の部門で使っていたシステムに合わせてフットウェア部門のプロセスを変更するかわりに、フットウェア部門用に最新のPLMを探すことにしました。当時LVMHではグループ内で様々なシステムを推奨していましたが、Marc Jacobsでは違うアプローチをとり、ニーズに合わせて構成できると、ファッションやフットウェア業界での実績という2つの基準で、様々なPLMの評価を行いました。

CIO(Chief Information Officer)のRegis Litre氏は「Centricはファッション用PLMのマーケットでユニークなポジションにいます。数あるPLMベンダーの中でも、ファッション業界に特化したベンダーに絞るとその数は少なく、さらに今後のロードマップやラグジュアリーブランドでの実績、サポート力を考慮すると、自然とCentricが残り残りました。ファッション業界の知識や実績が豊富で、ソフトウェアやITのスキルも高く、この2つの要件を両方満たせるCentricのような存在は、とても珍しいと思います」と話します。

カスタマイズではなく、ニーズに合わせて構成することで、環境に合ったソリューションにできるCentric PLMを選ぶためには、ソフトウェアの専門知識も非常に重要な要素でした。Louise Neslin氏は「当社がPLMで管理したいと思った情報は、すべてCentric PLMで扱うことができました。パーツから仕様書、画像など、重要なデータを1ヶ所に集約して常に最新の情報を参照できるので、とても使いやすく新人のユーザにも有用です。経験的に、他のソリューションではこんなに柔軟性が高く便利な環境は実現できないと感じました」と話します。

賢く導入

Marc Jacobsは販売・商品管理・生産・物流の各部門でPLMの導入を行い、現在ではニューヨークと香港にあるオフィス間での連携や協業が行えるようになりました。

その後3年間、フットウェア部門でより幅広くPLMを活用できるように、Marc JacobsとCentricは一丸となって協業を重ねてきました。Neslin氏は「Centric PLMは、信じられないくらい満足度が高いです。他のシステムで行っているプロセスを可能な限りPLM上に移行できるように検討を重ね、すべてCentricが対応してくれました」と話します。

効率が劇的に向上

Centricを導入したメリットを実感しているMarc Jacobsは、PLMをさらに活用できるように検討を続けており、フットウェア部門の未来はこれまで以上に明るくなりました。

Neslin氏は「PLMを使い始めて、すべての効率が信じられないほど上がりました。情報を集約して管理でき、ミスも大幅に削減することができました。単にExcelから移行しただけではなく、画像管理から海外のパートナー企業との協業まで、すべての作業が以前とは比べ物にならないほど効率的になりました。これはExcelやメールでは実現できなかったことだと思います」と話しています。

数値では表せない部分でも、国内外で計り知れない価値やメリットがありました。Neslin氏はこう話します。「数値化することはできませんが、情報を集約して精度の高いデータをいつでも参照できるようになったことによる作業時間の削減効果は、非常に大きいものでした」

さらに、スピーディなアクションが必要な初期段階でのコスト試算のプロセスを、PLMを使って可視化できたことで、PLMを導入したメリットがより大きなものになりました。

Neslin氏は「Centricを使ってコスト計算ができるようになって、仕事のやり方が大きく変わりました。価格戦略を立てても、商品開発部門から正確なコスト情報をもらうまでは、利益を正確に見積もったり、コレクションの全体像を具体化することはできません。今ではPLMで商品開発部門が情報を更新して公開すれば、販売部門などその情報を必要とするメンバー全員が情報を参照できます。データの入力や情報の共有がスピーディに行えることで、リードタイムが大幅に削減できました。これはCentricなしでは、実現できなかったことです」と話します。

コストを正確に試算できることに加えて、他にも大きなメリットがありました。デザイン部門や商品開発部門では、ライブラリーの活用が大きな価値を生んでいます。Neslin氏は「フットウェアでは、商品ラインをコンスタントに変更しているので、過去のデザインの中から人気のあったものを参照することがよくあります。カラーや素材のライブラリにアクセスして、過去のシーズンのものを再利用して新しいコレクションを作れるようになったことが、商品開発部門にとっては非常に大きなメリットになりました」と締めくくります



導入結果

- + 商品情報を集約し、データの精度が向上
- + やり直しやミスを大幅に削減
- + フットウェア独特のプロセスやニーズに合わせてPLMを構成
- + ライブラリで過去のデータを管理し、デザインやカラーの再利用が可能に
- + コスト試算の精度が上がり、商品化の時間を短縮



MARC JACOBS

デビューから30年以上たった現在でも、Marc Jacobsはアメリカンファッションの輪郭を作り上げています。あふれる個性を隠ることなく発信し続けるMarcの集大成が、自身の名を冠したブランドMarc Jacobsです。

未知の美しさを追い求め続けるMarcは、日々の生活の中にあるラグジュアリーをお届けしています。“すべての人が自分の人生という映画の主演である”というMarcの強い信念をもとに、その人の個性や魅力をさらに輝かすことのできるファッション・メイクアップ商品・フレグランスを作り出しています。

誠実に真摯な思いで作上げたファッションやアクセサリを、幅広いプライスゾーンでお届けしています。

CENTRIC SOFTWARE

シリコンバレーを拠点とし、世界各国にオフィスを展開しているCentricは、ファッション、小売り、フットウェア、アウトドア用品、ラグジュアリーブランドなどの一流企業向けにソリューションを提供しています。代表的な製品ライフサイクル管理 (PLM) ソリューションCentric8は、変化の激しいお客様の環境に合わせた販売計画、商品開発、調達、事業計画、品質管理、コレクション管理の機能を備えています。中小企業向けにも、革新的なテクノロジーと業界の専門知識に基づいて設計されたPLMソリューション Centric Small Businessパッケージを提供しております。

また、Centricは2012年のFrost & Sullivan Global Product Differentiation Excellence Awardのファッション・アパレル業界向けPLM部門、2016年のFrost & Sullivan Global Product Differentiation Excellence Awardのファッション・アパレル業界向けPLM部門をはじめ、業界のアワードを数多く受賞しており、米Red Herring社が世界で最も革新的なテクノロジーベンチャー企業に贈るRed Herring Top100 Globalを2013年、2015年、2016年の3度に渡って受賞しています。

CentricはCentric Software社の商標登録です。また、このサクセスストーリー内に登場するブランド名および商品名も、関連する会社または個人の商標登録である場合があります。



セントリックソフトウェア株式会社 | 〒107-0061 | 東京都港区青山3-6-7 青山パラシオタワー11F

電話: 03-5778-7545 | ファックス: 03-5778-7546